

## 指定管理者評価シート

事業名	札幌市社会自立センター管理業務	所管課(電話番号)	障がい保健福祉部障害福祉課 211-2938
-----	-----------------	-----------	------------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市社会自立センター	所在地	札幌市東区伏古1条2丁目1番40号
開設時期	平成4年4月	延床面積	871.12㎡
目的	知的障がい者の社会参加を促進するため、生活指導、健康管理などに配慮した環境の下で労働す		
事業概要	就労継続支援A型事業所		
主要施設	作業室2室、更衣室、休憩室、食堂、相談室、医務室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 札幌親会		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募(理由)管理期間中の管理が良好に行われていると認められたことから、札幌市福祉施設条例第13条第2項の規定に基づき非公募とした。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、施設事業計画及び実務に関する業務、施設利用承認業務 等		
3 評価単位			
	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

### II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>さっぽろ障がい者プラン2018の基本理念の一つとして挙げられている「地域生活移行や就労支援などの課題に対応したサービス基盤の整備」及び「福祉施設から一般就労」に向けて、社会自立センターとして「生活支援、健康管理などに配慮した環境の下で就労の機会の提供を行うことにより、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練、その他のサービスを適切かつ効果的に行い、社会自立を促進すること」を基本方針として策定した。</p> <p>○個別支援計画に基づき支援を行い、利用者の就労に必要な力を育てます。</p> <p>○利用者の仕事と生活を理解しバランスを保ちつつ、働きながら地域生活が継続され、または可能になるよう支援します。</p> <p>○仕事の理解・技術を高め、仕事を通じてひとり一人が充実感を持ち、自己実現が図られるように支援します。</p> <p>○職場が単に作業を提供するだけの場所にとどまらず、生活に張りりと豊かさを与える環境であり、生活の糧となるよう事業を展開します。</p>	<p>基本方針は、概ね実施できたと考えています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家族と話しをする機会は減りましたが、利用者本人とは毎月面談を行いました。</p> <p>本人ニーズを中心に、障害特性に配慮した個別支援計画作成しましたが、本人の意向の幅や、将来の選択肢を広げる支援には至っていません。</p> <p>就労支援は企業見学等、社会参加の企画が事業所側と相手側の感染症対策の為に中止となってしまう現状の作業技術の向上を優先して行いました。</p>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>・基本方針に則り、適正に管理運営がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>就労継続支援事業所という機能のみにとらわれず、職業を体験できる場として広く自立センターを活用していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立センターのサービス利用を希望する方々が公平公正に支援を受けられるよう利用希望者への情報提供を行い、高等支援学校、就労移行支援事業所、他関係団体との連携を密に行っている。</li> <li>・近隣中学校の特別支援学級の生徒、高等支援学校の生徒の職場実習の受け入れ、就労移行支援事業所の職場体験、さらには夏、冬の長期休暇を利用した職場体験を積極的に受け入れ、ご本人が自身の適正(職業の)を見極める場としての提供も行っている。</li> <li>・利用契約者以外の相談にも積極的に応じ関係機関との連携のもとご本人の希望に応じた情報の提供を行っている。</li> </ul> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー使用の合理化に関する法律を遵守し、社会自立センターにおけるエネルギーの使用を利用者の活動に支障をきたさない範囲で適切に管理し合理化を図ってきた。</li> <li>・エネルギー使用の大部分が洗濯業務における電力、重油であり機械の効率的な運転、日々のメンテナンスを心掛け、使用料の削減に努める。</li> </ul> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮命令系統の明確な組織体制のもと、業務分掌を行いそれぞれの部門に責任者を配置し管理運営に必要な体制を業務計画概要にて全体周知してきた。</li> <li>・職員配置は、基準より多く配置し手厚い支援を行える体制を作るとともに研修計画をもとに、障がい理解及び障がい者の就労に関わる研修に積極的に参加してきた。</li> <li>・資格取得に向けた取り組みを行う。</li> </ul>	<p>感染症拡大により、高等支援学校等の要望に応えることができず、市立東栄中学校の2名の実習生のみとなりました。高等支援学校の実習は卒後進路と捉えられていますが、就労継続支援A型の特性上退所者が無く、定員を満たしていることを伝えていきます。利用者の高齢化もふまえて課題が残りました。支援学校等とは電話連絡で空き情報を共有しています。</p> <p>札幌市環境マネジメントに基づいた管理を行い、作業の効率化、照明の消灯、ゴミの減量等を継続して実施しました。電力と重油は、稼働時間と数量の効率化を図りました。機械メンテナンスは予算の都合により次年度実施としました。</p> <p>責任者、担当者を定め、業務分掌により責任を伴う業務遂行に努めました。職員研修は外部研修をWebで、内部研修を全職員を対象に積極的に行いました。職員配置は年度途中で異動、退職があり減員しています。法人全体を挙げて人材確保に取り組みましたが、思ったように採用できず、減員したままの運営となりました。就労関係研修は予定の研修が中止となり、受講できていません。資格取得については国家資格はなかったものの、サービス管理責任者研修を受講することができました。</p>	
--	--	---	--

	<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の障がい福祉施策と整合性を図り、安定かつ継続的なサービス提供に努める。</li> <li>・利用者のニーズ・障害特性に配慮し、アセスメントを行いそれをしっかりと個別支援計画に反映させ、日々の打ち合わせや職員会議、業務会議、図書館担当者会議を開催しきめ細やかな支援を行う。</li> <li>・事故防止においては、「ヒヤリ・ハット」報告、「事故報告書」を精査し事前の事故防止や職員の意識強化を図り、安全・安心な職場環境に努める。</li> <li>・利用者本人や保護者が気軽に相談できる体制を作り、課題解決に向けた相談援助を行う。</li> </ul> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>電気保安をはじめ機械整備に関わる分野について委託する。監督及び履行確認は徹底してきた。第三者に委託し承認されている管理業務は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自家用電気工作物保安管理業務</li> <li>②機械警備(防犯警備、火災異常監視、設備異常監視)</li> <li>③ボイラー設備保守点検業務</li> <li>④消防用設備点検業務</li> <li>⑤地下油タンク及び埋設配管の漏洩点検業務</li> <li>⑥水質検査</li> <li>⑦水洗機、乾燥機点検</li> </ol>	<p>サービスは例年通り実施し、安定した運営となりましたが、作業収益が悪化し、会計上は不安定な状況となっています。</p> <p>アセスメントや個別支援計画についても定期に作成し支援に活かすことができました。利用者に大きな事故や怪我はなかったが、職員の労災が何件か発生し、再発防止に努めました。</p> <p>家族会は感染対策の為中止となりましたが、個別に面談する機会を設け個々に最低でも年1回は話し合うことができました。</p> <p>再委託の適正、確認に努めました。左の項目について契約を締結していません。</p>					
	<p>▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)</p> <table border="1" data-bbox="383 1433 981 1657"> <thead> <tr> <th>開催回</th> <th>協議・報告内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R5/2/16開催(書面会議) ・利用者に関するアンケート結果について。 ・自立センターの現状と課題・展望について</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;協議会メンバー&gt;</p> <p>札幌市保健福祉局障がい福祉課運営指導係長・及び担当職員、札幌市立札幌小学校校長、社会福祉法人わらしべ会理事長、利用者代表、保護者会役員2名、社会自立センター所長、社会自立センター職員代表。 計9名</p>	開催回	協議・報告内容	第1回	R5/2/16開催(書面会議) ・利用者に関するアンケート結果について。 ・自立センターの現状と課題・展望について	<p>感染拡大防止の為書面開催としました。</p> <p>利用者アンケートの結果と、運営上の課題・展望について報告し、ご意見、ご質問をいただきました。</p> <p>新型コロナウイルスの影響を憂い、励ますご意見や設備・備品の老朽化についてのご質問がありました。活動にご理解をいただき、概ね良い評価をいただきました。</p>	
開催回	協議・報告内容						
第1回	R5/2/16開催(書面会議) ・利用者に関するアンケート結果について。 ・自立センターの現状と課題・展望について						

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の経理規程、事務規程の則った会計を行っている。</li> <li>・法人監事監査(年4回)の他、監査法人による予備監査を実施する。</li> </ul> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人苦情解決システムに関する規程に則り解決のための体制、方法を確立している。</li> <li>・施設内に利用者相談事業体制を掲示し苦情箱の設置も行っている。</li> <li>・家族、本人と面談を実施し要望や意見を聴取している。 意見として多かったのは以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①現状の作業を継続したい。</li> <li>②将来若しくは家族の状況に応じて、GHを利用したい。</li> </ul> また、ご家族の高齢化も顕著に聞かれており、主たる介護者が母のみとなっている現状も聞かれた。</li> </ul> <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市への月次報告等を定期的実施するとともに、依頼に応じて対応している。</li> <li>・年度当初に事業計画を配布し、事業所の目標、目的を説明し、定期的に支援が目標に達しているかを評価している。</li> </ul>	<p>監事監査では適切な会計処理であると評価されています。監査法人監査で指摘された事項は都度対応しています。</p> <p>苦情等はありませんでした。面談で聞き取った要望については、本人をご家族と話し合いを行い、より具体的な意向となるよう働きかけています。ご家族と本人の意向のすり合わせや現実とのすり合わせなど時間かけても解決に向けます。</p> <p>個別支援に対するモニタリング、計画の見直しを行っています。 札幌市からの検査等については迅速に対応しました。</p>									
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>労働三法、その他関係法令を遵守し、監督官庁には必要な届出を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉事業を取り巻く環境の変化に対応すべく、福祉サービス提供者として職員ひとり一人が資質の向上を図りながら、法人事業全体のレベルアップを目指すことから人事考課制度を導入している。</li> <li>・利用者においては、法定福利(雇用保険、社会保険、厚生年金、退職共済)に加入している。</li> </ul>	<p>労働環境を整え、関係法令を遵守して雇用しています。人事考課制度を利用し、職員の自己研鑽をにより支援の質を高めるよう取り組みました。福利厚生は充実していますが、収益に不安がある為継続できるよう努めます。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。			
A	B	C	D								
・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。											
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>職場の安全管理は、整理整頓、保護具の着用をはじめ徹底して行っている。保険関係は、建物火災保険。利用者については、施設賠償保険に加入し万が一の時に対応できる体制を整えている。</p>	<p>建物や設備の維持は定期点検、清掃、修理により不具合は少なかったです。維持管理は当初の目標通り実施できました。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。			
A	B	C	D								
・仕様書に基づき、適正に施設の維持管理がなされている。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>施設及び設備全般の機能を良好に維持管理するとともに、施設の劣化等を早期に発見し、措置するため日常点検、定期点検、その他必要な保守点検業務を実施。屋上部分の定期点検、ルーフドレンの清掃、館内のワックスは確実にしている。緑地は、今年度も保護者会ボランティアがコロナ禍により実施できず利用者と職員で整備している。 作業で使用する洗濯機と乾燥機の修理は、予算の関係上次年度に持ち越すこととなった。</p> <p>▽ 防災</p> <p>地震、火災、風水害の災害及び事故による傷病などが発生した場合に迅速かつ確な対応ができるよう、防災計画を定め、防火管理者を中心に日頃から訓練を行い、利用者、職員などの安全確保を図ってきた。</p>	<p>しかし、床材や洗濯機等のモーター等経年劣化しているものについては、随時修理が必要となっています。 防災訓練は年2回、計画通りに実施しています。また非常災害対物資の更新も行っています。</p>									
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 職員に関する学習機会の提供業務</p> <p>質の高い就労支援の提供と安定した収入の確保、健康で豊かな生活を送るための地域支援活動を重点課題とし取り組んできた。毎月本人と行っている面談や保護者との面談からニーズを把握しアセスメントを行い、それをしっかりと個別支援計画に反映させ支援を行ってきた。</p> <p>▽ 障がい福祉施策に関する情報収集及び提供業務</p> <p>各学校、就労移行支援事業所、社会福祉協議会との連携により、実習の受け入れを行う。また、ハローワーク、高齢・障がい者雇用支援センターと密接な関係を保持し、諸手続き、就労斡旋など適切な支援業務も行っている。 ホームページを利用し事業所の情報提供を行う。 近隣の小学生の職業体験をはじめ小学校のバザーにも参加し障害についての啓発活動を行う。 見学者の積極的な受け入れを行う。</p> <p>▽ 障がいに関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>社会福祉協議会からのボランティアや、学生のインターシップの受け入れにより、地域、社会の障がい理解を推進する。 地域貢献活動として近隣公園、道路の清掃活動や学校でのバザーに参加する。</p> <p>▽ 進路に関する相談業務</p> <p>利用者、またその家族との対話を通じて将来の生活や就職について把握し、必要に応じて相談支援事業所、他法人の就労移行支援事業所、障害者職業センターとの連携を図り、本人が希望する社会生活の実現を目指す。</p>	<p>感染症予防のため、対面研修には参加していません。現利用者のケース検討や、報道を受けての権利擁護・虐待防止研修を充実させました。</p> <p>感染症予防のため、見学者、実習生はほとんど受け入れていません。ホームページは2月にリニューアルし、自立センターの活動を広く知ってもらうよう努めました。</p> <p>感染予防のため、行事は全て中止となっています。事業所としても、受け入れ態勢は取れませんでした。</p> <p>ほとんどの利用者が現状維持を希望しており、選択肢の幅を広げることができませんでした。1名の方が就労移行支援事業所に移行しています。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・利用者個々人の適性に応じたサービスが提供されている点は評価できる。 ・新型コロナウイルス感染症により中止している各内容について、オンラインの利用など、感染症対策を行いながら再開できる方法を積極的に検討すること。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等 (人)		A	B	C	D																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度実績</th> <th>R4年度計画</th> <th>R4年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>8,337</td> <td>7,980</td> <td>7,758</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>266</td> <td>266</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>人数/日</td> <td>31.3</td> <td>30</td> <td>29.2</td> </tr> <tr> <td>契約人数</td> <td>34</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>92%</td> <td>100%</td> <td>97%</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績	利用延べ人数	8,337	7,980	7,758	開所日数	266	266	266	人数/日	31.3	30	29.2	契約人数	34	31	30	利用率	92%	100%	97%	<p>定員遵守の観点から、利用者数を30名まで減員しています。</p> <p>利用者の高齢化が進んでおり、募集をかけながら生産性を維持したいですが、定員を遵守すると新規受け入れができない状況となっています。</p>
	R3年度実績	R4年度計画	R4年度実績																							
利用延べ人数	8,337	7,980	7,758																							
開所日数	266	266	266																							
人数/日	31.3	30	29.2																							
契約人数	34	31	30																							
利用率	92%	100%	97%																							
(6)付随業務	▽ 広報業務 ・ホームページの更新、東区社会福祉協議会登録など。JIS X8341-3:2016の適合レベルAAに準拠。 ・札幌会広報誌「それいゆ」・広報誌「ドリーム」の発行(各年3回)  ▽ 引継ぎ業務 前回からの継続しての引き継ぎ業務はなし。	<p>ホームページをリニューアルして情報公開を推進し、広報を年3回発行しました。</p> <p>継続します</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・各種広報媒体を利用した活動は評価できる。</p>	A	B	C	D																			
A	B	C	D																							
2 自主事業その他																										
▽ 自主事業 該当なし。		継続します	A	B	C	D																				
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ・第三者委託は、すべて札幌市内の業者。 ・事務用品及び消耗品も市内業者より購入している。		継続します	・適正に事業を実施している。																							
3 利用者の満足度																										
▽ 利用者アンケートの結果			A	B	C	D																				
実施方法	・実施期間 令和5年1月5日～令和5年1月31日 ・対象者/回収率 利用者31名/100%	<p>5段階評価で最高評価のみを表示しているが、「まあまあ満足」を加えると、設問6以外は60%～90%が「満足」と回答されています。最も評価が低かったのは「行事」で、まあまあ満足を入れても32.3%にとどまりました。また、家庭への相談支援についてもまあまあ満足を含めて64.5%となりました。行事については開催しておらず、家庭への支援については、ご家族との対面での対話の機会が減少していることが原因として</p>	<p>満足度の要求水準を下回っている。利用者からの意見・要望に対して改善を検討し、満足度向上を図ること。</p>																							
結果概要	①センター利用(日数・時間)「とても満足」「まあ満足」 74.2% ②センターの建物の管理状況「とても満足」「まあ満足」 67.7% ③利用者の作業内容「とても満足」「まあ満足」 83.9% ④職員の支援「とても満足」「まあ満足」 80.6% ⑤センター内の活動以外「とても満足」「まあ満足」 64.5% ⑥センター行事「とても満足」「まあ満足」 32.3% ⑦家庭生活への相談・支援「とても満足」「まあ満足」 64.5%																									



	<p>◎「メンバーの総体的な満足度」「満足度」「まあ満足」</p> <p>74.2% ⑨職員は、きちんと挨拶「大変良かった」「まあ良かった」</p> <p>87.1% ⑩職員は、適切な言葉遣い「大変良かった」「まあ良かった」</p> <p>87.1% ⑪職員は、利用者の気持ちの理解に努め尊重「大変良かった」「まあ良かった」</p> <p>74.2% ⑫職員は、利用者からの相談など 親切、丁寧に対応している「大変良かった」「まあ良かった」</p> <p>77.4% ⑬接遇の総合的な満足度「大変良かった」「まあ良かった」</p> <p>80.6%</p>	<p>減つたところが原因と 考えています。いず れも感染症対策の ため中止、自粛を 余儀なくされたもの です。 全体を通じて極め て高評価な結果で すが、1回も行事を していないのに 19.4%が満足してお り、聞き取り方法の 課題が残りました。</p>
<p>利用者 からの 意見・要 望とそ の対応</p>	<p>○コロナで行事ができなかった。 ○日帰りでもいいのでどこかにみんなと遊びに行きたい。 ○再び旅行に行きたい。 ○せめて旅行くらいならしてほしいです。 ○図書館のレギュラーとしてお仕事をしたいです。 ○通院でわからないときは支援してほしいです。 ○行事やってほしいです。 ○ボーリング、焼肉パーティー ○コロナがおさまったら旅行に行きたい。 ○焼肉食べたいです。 ○いろいろなことに挑戦したいです。</p>	

## 4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R4年度計画	R4年度決算	差(決算-計画)				
収入	132,766	134,458	1,692				
指定管理業務収入	67,583	68,526	943				
訓練等給付費	67,216	68,110	894				
利用料金			0				
その他	367	416	49				
就労支援事業収入	65,183	65,932	749				
支出	134,853	133,529	▲ 1,324				
指定管理業務支出	66,954	66,732	▲ 222				
就労支援事業支出	67,899	66,797	▲ 1,102				
収入-支出	▲ 2,087	929	3,016				
利益還元			0				
法人税等			0				
純利益	-2,087	929	3,016				

説明

○概ね計画通りの収支状況となっている。

○収入額は若干の増額しているが、ほとんど誤差の範囲と捉えている。

○支出の増額が顕著になっている。原因は最賃や社会保険料率上昇に伴う人件費の増額、物価高騰に伴う光熱水費、燃料費の増額、新型コロナウイルス感染の影響による就労支援収入の減額が主要因となっている。

訓練等給付費は、定員30名の就労継続支援A型事業としては平均的な収入であると考えています。増額に向けてスコアの向上に向けた取り組みが必要と考えています。就労支援事業は、表示されていませんが、大きくクリーニング作業と清掃作業に別れています。このうちクリーニング作業については、資材の高騰、作業量の減産により、根本的な見直しを図らなければならぬ状況にあります。

・新型コロナウイルス感染症の影響が出ているにも関わらず収入増を図り、計画では支出超過であるところを実績にて黒字転換した点は評価できる。

・収益を活用し、更なる支援の質の向上に努めていただきたい。

## &lt;確認項目&gt; ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持	<p>○事業運営上は積立金を保ちながら、拠点区分間繰入で本部に資金繰れができています。法人内での採用がうめく進まず、異動により職員が減員したため会計上プラスとなった。減員して運営できる体制づくりを進め、経営状況は現状維持したい。</p> <p>○就労支援会計においては、最賃の上昇、物価の高騰、感染症拡大による収益の減少がみられている。</p>	<p>経営上は安定しており、事業運営は十分に維持継続できます。しかし、就労支援収入は作業種から大幅に見直す必要があります。</p>	<p>適 不適</p> <p>・安定した運営を保持している。</p>
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	<p>個人情報保護等については法令、条例を遵守しています。</p> <p>札幌市暴力団の排除の推進に関する条例を周知して対応している。各条例の規定により、適切に対応した。</p> <p>協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。</p>	<p>法改正等に準じて規程化するなどの対応に努めます。</p>	<p>適 不適</p> <p>・各条例を順守し、適正に対応している。</p>

## Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>1. 就労事業の推進について</p> <p>①利用者給与の増加を目標に、引き続き委託事業の増加、さらには作業場を活用した新たな事業の開拓を目指す。</p> <p>→未達成</p> <p>②支援学校をはじめ各関係機関と連携し新たな利用</p>	<p>1. A型スコアでの高評価に取り組む。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の五類移行に伴い、社会経済の活性化が予想される。収支に見合う作業種となるよう単価交渉、経費の削減、新たな作業種の開拓を行う。</p> <p>3. 利用される方が将来の選択肢を広げられるよう、体</p>



<p>者の確保を行う。(職場実習の受け入れ) →中学生体験受入1件のみ</p>	<p>験の機会を設け、個々の移行に沿った将来に向けて支援する。</p>
<p>③利用者の一般企業への移行を目標に、就労に必要な知識及び能力の向上を図るとともに、就労支援の推進を図る。 →未達成</p> <p>④個別支援計画に基づき支援を行い、利用者の就労に必要な力を育てるとともに働きながら安心したゆとりのある地域生活が送れるよう支援する。 ・今年度も家庭状況の把握と地域生活者の調査を実施する。 ・各種関係機関に情報提供を行いより多くの市民に実習や体験を通して事業所の利用を促進する。 ・研修に積極的に参加し支援技術はもとより就労に係る専門知識の向上に努める。 →達成。継続的な取り組みが必要。</p> <p>⑤高齢化対策とマンパワーの導入をする。 ・引き続き。高齢者や持病通院者で体力が低下してきている方へは、家族を交えB型事業所への移行相談を行っている。一方で新規の若い人材確保にも力を入れ、目標とする工賃向上への基礎作りをしていきたい。 →達成。面談を実施して、作業が辛くなってきた方に、意向に沿ったサービスを提案し、相談支援事業所と連携して次のステージに支援をつないだ。</p> <p>⑥労働基準監督署での減額申請に係る書類の見直しと、総合支援法との整合性を統一させ変更届を再確認していく。 →達成。継続的に取り組む。</p> <p>⑦コロナウイルス感染予防の徹底を行い、検温、手洗い、マスクの着用、作業場の立ち位置の工夫など重点的に行う。 →達成。感染者は数名出たが都度クラスター化することなく対応できた。</p> <p>⑧基本的には就労中心の支援ではあるが、限られた時間を利用して、余暇活動の充実を図っていきたい。 →未達成。行事等を開催することができなかった。</p>	<p>4. 一般就労を希望する利用者には、就労に必要な知識と技術の向上に向けた支援を提供する。また必要な関係機関との連携を図り、長く定着できるように支援する。</p> <p>5. アセスメント、モニタリング、個別支援計画の策定を行い、家族、本人の意向、希望に沿った支援を提供する。</p> <p>6. 福祉人材の確保と育成のため、大学、短大、専門学校からの実習、インターンシップを積極的に受け入れる。採用後はメンターエルダー制度を活用して定着化を図り、研修の機会を設ける。</p> <p>7. 労働基準監督署の定める減免申請に取り組み、一人でも多くの利用者が最低賃金以上で雇用されることを目指す。</p> <p>8. 新型コロナウイルスが五類に移行したが、感染症のリスクは変わらず高い。館内の環境衛生や日常的な衛生管理を徹底し、感染者が出ないよう努める。</p> <p>9. 利用者アンケートでは行事の希望が多い。しかし就労継続支援A型事業所としては、安定した賃金の保障や利用者個々の社会参加を中心に支援を行う。当年度は行事に社会参加の訓練や社会見学、地域貢献を主軸に行事を構成し、楽しみながら学ぶ機会を設ける。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、収益に減少が見られたが、工賃の向上に努めていることは高く評価できる。</p>	<p>引き続き、作業環境の改善を図りながら従業者の処遇向上に努めてもらいたい。また、利用者の社会参加の機会や、実習の受入などを積極的に行ってほしい。アンケート結果の「家庭生活への相談・支援」等の項目で一部満足度が低いものがあるので、更なる調査やヒアリングを実施し改善してほしい。</p>